

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|----------------|------------|-------------|
| 事業所番号 | 2270600568 | | |
| 法人名 | 日本ケアクオリティ | | |
| 事業所名 | グループホームひかり | ユニット名 | 1階 |
| 所在地 | 静岡県三島市徳倉3-1-51 | | |
| 自己評価作成日 | 平成27年9月25日 | 評価結果市町村受理日 | 平成27年12月21日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigvosvoCd=2270600568-00&PrefCd=22&VersionCd= |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-------------------------------|
| 評価機関名 | セリオコーポレーション有限公司 福祉第三者評価 調査事業部 |
| 所在地 | 静岡県静岡市清水区迎山町4-1 |
| 訪問調査日 | 平成27年10月22日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

地域密着型サービスとして可能な限りではあるが、認知症フェスティバルに参加したり地域のお祭りに参加したり、職場体験の学生を受け入れるなど地域との関わりを大切にしています。職場内においては職員間の和、協調性を大切にして働きやすい職場になるよう努めていて、入居者様の表情にも反映されています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

勤務年数が長い職員や資格取得者が多く、日々の支援から多くの気付きを拾い集め利用者個々に適した個別ケアがされている。職員の明るさと気配りにおいては家族から絶大の評価があった。玄関の鍵をかけない方針は、利用者の無断外出につながるが、それ以上に自由な安心感をもたらしていることが感じられる。また四季折々の行事を大切にメリハリをつけた暮らしを楽しんで頂けるように工夫を凝らしている。居室や共用空間に関してはすっきりした中にも利用者の動線や癖を観察した上での環境作りがされており、職員の優しさや真剣さが窺えた。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|----|--|----|---|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) |
| 57 | 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | 66 | 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) |
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー) + (Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|--|---|---|---------------------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 開設時に掲げた「わたしらしく、あなたらしく」という理念は施設入口に掲示し、職員は常に確認でき、カンファレンス等でも共有し、外部の方にも見ていただいています。 | 折々に理念を意識するよう図っている。利用者の訴えは実行可能な時期に実現できるように取り組んでいる。職員の都合を押し付けず、利用者本位の支援により「わたしらしく、あなたらしく」の暮らしを実践している。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 日常的な散歩での挨拶から、町内清掃や盆踊りなどの町内行事又は地域のイベントには入居者様の状態を考慮し参加しています。 | 自治会員として町内の行事に参加している。顔見知りになった方が犬の散歩がてら立ち寄り、小学生の見学を受け入れたりしている。職員が地域の広告をチェックして利用者が喜びそうな場所に出掛けて交流している。 | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 認知症フェスティバルに参加し、一般の方に対してグループホームや認知症の話をしていただいたり、市役所主催の展示会や、市民すこやかふれあいまつりにて、地域の方々に啓発させていただいています。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実践、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 奇数月の第2水曜日に開催し、ホームの現状や活動報告をさせていただきながら、参加者の方々より意見を頂戴し、サービス等に生かしています。 | 民生委員や地域包括支援センター職員・介護相談員等が出席して定期的に開催されている。地域情報を得たり、ボランティアを紹介してもらい利用者の楽しみに繋げている。 | 開催日や呼びかけに工夫され家族の参加が得られるよう期待したい。 |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 定期的に行っている連絡会には市町村担当者と他のグループホームも参加され、様々な情報を共有し良好な関係を築いています。 | グループホーム連絡会での情報交換や、市役所ロビーを活用した利用者の作品展示を通して連携している。また、長寿介護課職員に看取り後のデスカンファレンスについて話してもらう等の良好な関係が築かれている。 | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 「身体拘束マニュアル」を基にカンファレンス等にて基本的な対応や個々の対応に努め、入居契約時には身体拘束0宣言などの説明をさせていただいています。 | 身体拘束について職員は良く理解しており、やむを得ない場合の拘束に対する同意書等が用意されているが一度も使用していない。玄関の施錠もないため、利用者は自由に新聞取りや花を摘み出している。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | カンファレンスなどで様々な虐待について理解するよう努めています。介護者側の要因には特に注意し職員間でのフォローなど協力合っています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 今後の必要性などを考慮して、カンファレンスや勉強会にて理解に努めています。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居時に時間を掛けて説明し、質問を受けています。料金改定があった際は家族会や個々に時間をいただき書面等で説明をさせていただきました。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 入居契約時に苦情処理について説明したり、意見箱を設置し本社管轄となっていて定期的に回収しています。介護相談員の方には入居者様の意見をフィードバックしてもらっています。 | 利用者や家族からの意見は財産であることを面会や家族会で申しており、事業所でも対応可能な意見は対応している。介護相談員を通して聴き得た利用者の意向は、職員間で話し合って反映している。 | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 職員の意見は施設を運営する上でとても重要な為、カンファレンスや普段の業務においても積極的に声を掛けています。管理者会議でも各ホームの現状として報告、検討しています。 | 昨年全職員に対しての面談を実施しており、現在は随時個々に面談している。会議で上がった意見は改善に繋げており、意見によっては管理者会議で検討している。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 各ホームの保険請求率や稼働状況が分かるマトリクスがあり、自分のホームの状況が図面化されていることで、確認しやすくなっている。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 社内研修、特に新人研修には必ず参加しています。定期的に各ホームにも訪問し、管理者と話し合う機会も設けています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 社内研修では代表者が提案した勉強会を同業者の方から受けるなどサービス向上に努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|-----|--|--|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入居前の見学や面接による事前アセスメントによりご本人様のこれまでの生活歴などを把握し可能な限り以前と変わらない生活をしていただけるよう努めています。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入居前の相談などで、グループホームで出来る事、出来ない事をしっかりと説明しています。入居初期では面会時などに、ご本人様の報告と共に時間を設けるようにしています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | 入居前にご家族様にセンター方式を利用して本人様の情報を得たり、本人様にも話を聞かせていただきながら、まず、必要としているサービスを提供できるよう努めています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 出来ない事への支援だけでなく、出来る事を見つけて自立を促し、職員と利用者様がお互いに助け合いながら暮らせる家、生活を創り上げるよう努めています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 普段の声かけから家族会などで、ご本人様が家族に望む事、家族が本人に望む事を理解し絆を感じられるよう努めています。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 町内会の催しに参加したり、可能な限りご家族様に外出や外泊などの機会を作っていました。面会も時間制限を設けず対応しています。 | 友人と電話をしたり、面会の際の出入りは自由である。家族と連携して、家で過ごしたり墓参りや美容院へ行く等の時間を大切にしております、そのための声かけをしている。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者様、一人一人のその時の状態をしっかりと把握した上で、決して無理強いせずに普段の散歩からお手伝いなどの支援に努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 退去に関しては不安を訴えるご家族様もいらして入居前の相談や特に契約時には説明をしています。退去後も差支えない程度に連絡させていただいたり、ご家族様の方から連絡を下さったこともあります。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | 入居前からご本人様を少しでも知る為にしっかりとアセスメントを行い入居後もカンファレンスを行ったり、日常生活における言動などからも希望、意向が把握できるようにコミュニケーションを取るよう努めています。 | 入所時のアセスメントに加え、日常の触れ合いや会話等からも表現しにくい希望や意向の把握にも努めている。本人本位に実現出来るように検討している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | これまでの生活、入居前の様子などをご家族様や関係機関に確認し、ご家族様にはセンター方式を用いて情報を得ています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 毎日の介護記録は勿論、利用者様個々について気付いたことなどを記入する書式を職員間で共有し、カンファレンスなどで把握に努めています。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | ケアマネージャーが中心となりケースカンファレンスなどによりご本人様の問題点を検証し、ご家族様の意向も確認しながら介護計画を作成し、ご家族様の同意も得ています。 | ケースカンファレンス等を通じて作成されたケアプランに対し、モニタリング等を行っている。目標は短期で3ヶ月、長期は6ヶ月であり、状況変化時はその都度見直しを行い、絶えず現状に即した計画に更新している。 | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | 通常の個別記録に加え、必要であれば24時間シートなど活用し細かな訴えや、行動を把握できるよう努めています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 外出時の送迎やイベントの付添い、ペットを飼ったりと、可能な限りその時のニーズに対応できるようにしています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|--|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 運営推進会議やグループホーム連絡会、介護相談員などのネットワークを生かし、町内の催しに参加したりボランティア、中学生の職場体験を受け入れて交流に努めています。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居前の相談時などにも説明しますが、入居時にご本人様、ご家族様が希望する病院医療が受けられるよう支援しています。 | 本人や家族の希望を尊重して決めている。提携医の場合は週2回の往診と週2回の看護師の訪問がある。昔からのかかりつけ医の場合は、電話やFAXでの連携や必要に応じての付き添い等、適切な支援が行われている。 | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 定期的に来る訪問看護師に体調等を報告し必要に応じて相談や助言、医療行為などをお願いしています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 個人情報の活用は入居時にご家族様から承諾を得ています。その情報を基に医療機関と連携を取り、退院後の生活に向けた指導、助言を受けて経過にはご家族様に逐一報告しています。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時にも終末期について話していますが、食事が摂れなくなってきたりなど状態の変化に応じてその都度、ご家族様にご意向を確認し希望に添えるよう医療と連携しながら支援しています。 | 指針やマニュアルがあり、職員に対する研修も行われている。重度化に対する意向を入所時に確認し、実際の状況変化に対応している。利用者や家族のその時の気持ちを尊重し、医師や看護師・職員・地域等と協力してチームで取り組んでいる。 | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | マニュアルやその方に考えられる対応を勉強会などで確認しています。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 半年に1回の定期訓練を行ったり、BCPを作成中など安全対策に努めている。運営推進会議においても度々議題となり、地域へ協力の働きかけをしている。 | 法人と共に災害時のBCP(事業継続計画)を策定中であり、完成も近い。運営推進会議等を通じて、一歩進んだ地域との連携を共に模索中である。 | BCPに取り組み中であり、一日も早い完成と地域との連携の深まりが期待される。 |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | その方を知るといふ事を大切にして、個々に合った声かけや場面に応じた対応をしています。 | 日常の触れ合いやトイレ誘導・入浴時等の言葉掛けに注意し、利用者個人のプライバシーを傷つけないように支援している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 個別対応の中でゆっくり、分かりやすく説明することで想いや希望を表現してもらったり選択制を持っていただき自由に表現してもらえるようにしています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 利用者様が集団生活をされている中で、全てにおいて自由にさせていただく事はできないが、対応の工夫をしたり、ご家族様の協力を得ながら可能な限り希望に添うようにしています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 衣類の購入に職員が付き添ったり、ご家族様に協力をしていただいたりコミュニケーションを大切にしています。着替え等でも可能な限りご本人に選んでいただくなど、基本的なことも大切にしています。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者様の誕生日ではその方に確認して外食することもあります。準備、調理、片付けも出来る事を無理のないように支援しています。 | 利用者の状況を見極めた上で、外食への同行や食事の準備・片付け等、それぞれに相応しい支援を行っている。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | バランスの良い食事と摂取量の確認。必要に応じて水分量をチェックし、体重も半月から毎月測定しています。食事形態によっては補助食を用いてカロリー摂取していただいています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 毎食後、利用者様個人に合わせた方法で対応しています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄チェック表を用いてその方の排泄パターンを把握しています。また、個々の表情や言動などその方らしい排泄のサインも気をつけながら対応しています。 | チェック表で排泄パターンを把握すると共に、表情や言動で排泄サインを見逃す事なく、自然排便を中心にフォローしている。 | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 内服薬によるコントロールも大切ですが、水分や食物繊維の粉末を使用したり、個々のレベルに合わせた運動など、まずは基本的な対応を行っています。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々にそった支援をしている | 一日おきに入る方から週2回の方など、希望や皮膚の疾患など個々に合わせた対応をしています。拒否のある方には状況に応じて、手浴、足浴をしていただくなどしている。 | 週2回の入浴を原則としている。入浴拒否者に対しては入浴剤を買ってきたり、職員や時間を変えてフォローしたり、手浴や足浴・清拭で対処している。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 個々の体調やレベルに合わせて、午前や午後に休んでいただいたり、冬には足浴や湯たんぽを使用したりしている。日中の活動量も注意している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 定期薬は薬剤師が配達し個別の箱に入れていて、その場で疑問点を確認したり相談できる。社内研修も行き、理解に努めている。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | アセスメント、カンファレンスは勿論、普段の業務において、その方の能力を把握し散歩から季節行事に至るまで支援している。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 近くの自販機への買い物から、商店への買い物と可能な限り対応しています。介護相談員の方にお手伝いしていただいたり、ご家族と外泊される方もいらっしゃいます。 | 自分から外出や散歩を希望する利用者は少なくなってきたが、家族の協力も得ながら外食や外泊等の支援をしている。日常的には入口に残る風情のある門まで出たり、周辺の散歩や自動販売機・商店での買い物を楽しんでいる。 | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | ご本人様より希望があれば、ご家族様に相談させていただいた上でお金を所持してもらっています。外出支援にて使っていただく事もあります。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 家族や知人の方から手紙があったり個人で携帯電話を持っている方もいます。尚、入居時には個人情報についてご家族様と相談しています。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節を感じ居心地のいい家と感じていただく為に温度、湿度、音などには気をつけています。季節に応じた飾りや外出、行事などの写真を壁に飾って面会の方などにも好評です。 | バリアフリーの建物であり、安全かつ快適で過ごし易い。室内は季節感を感じる飾り付けや最近の参加行事の写真があり、外には可愛い猫の小屋等もあり居住環境が整えられている。 | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | リビングルームでは利用者間の様子で食事座席やテーブルの位置を変更したり、畳のスペースを用意しています。リビングから離れた所には、ソファを置き利用者様同士が談笑したり、個人で落ち着かれたりしています。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 入居前の見学や相談で認知症を少しでも理解していただき、その方の慣れ親しんだ物を持参していただき、その方の家として安心した空間づくりを心掛けています。 | 利用者の状況を家族と入所時に確認し合い、それまで慣れ親しんだ調度品や衣類等を持ち込んでいる。利用者の状況に相応しく、過ごし易い工夫がされている。 | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | 廊下やトイレなど危険個所には手すりを付けるなど安全な環境づくりに努め、日常生活から定期的なボランティアなどで「できること」を少しでも維持できるようにしています。 | | |

1 自己評価及び外部評価結果

【事業所概要(事業所記入)】

| | | | |
|---------|----------------|------------|-------------|
| 事業所番号 | 2270600568 | | |
| 法人名 | 日本ケアクオリティ | | |
| 事業所名 | グループホームひかり | ユニット名 | 2階 |
| 所在地 | 静岡県三島市徳倉3-1-51 | | |
| 自己評価作成日 | 平成27年9月25日 | 評価結果市町村受理日 | 平成27年12月21日 |

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

| | |
|----------|---|
| 基本情報リンク先 | http://www.kaijokensaku.jp/22/index.php?action_kouhyou_detail_2014_022_kani=true&JigyouvoCd=2270600568-00&PrefCd=22&VersionCd= |
|----------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|-------------------------------|
| 評価機関名 | セリオコーポレーション有限公司 福祉第三者評価 調査事業部 |
| 所在地 | 静岡県静岡市清水区迎山町4-1 |
| 訪問調査日 | 平成27年10月22日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

| |
|--|
| <p>地域密着型サービスとして可能な限りではあるが、認知症フェスティバルに参加したり地域のお祭りに参加したり、職場体験の学生を受け入れるなど地域との関わりを大切にしています。職場内においては職員間の和、協調性を大切にして働きやすい職場になるよう努めていて、入居者様の表情にも反映されています。</p> |
|--|

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

| |
|--|
| <p>※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価票に記入されています。</p> |
|--|

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

| 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 | 項目 | 取り組みの成果 ↓該当するものに○印 |
|--|---|---|---|
| 56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25) | ○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない | 63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19) | ○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない |
| 57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38) | ○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない | 64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20) | ○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない |
| 58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4) | ○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない |
| 59 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目:36,37) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 66 職員は、生き活きと働けている (参考項目:11,12) | ○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない |
| 61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | 68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う | ○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない |
| 62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28) | ○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない | | |

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|-----|---|--|-------------------------------------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | (1) | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている | 開設時からの「わたしらしく、あなたらしく」という理念と企業信条ある「その人そのために」は施設入口に掲示し、職員間で共有しています。 | ※複数ユニットの外部評価結果は1ユニット目の評価票に記入されています。 | |
| 2 | (2) | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 日常的な散歩での挨拶や町内清掃や盆踊りなどの町内行事やイベントには入居者様の状態に合わせて、参加しています。 | | |
| 3 | | ○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている | 認知症フェスティバルに参加して一般の方々に対してグループホームや認知症の話をさせていただいたり市役所主催の展示会、市民すこやかふれあい祭りで地域の方々に啓発したり、認知症サポーターも2名増えています。 | | |
| 4 | (3) | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | ホームの現状や活動報告をさせていただきながら参加者の方々より意見を頂戴しサービス等に活かしています。特に介護相談員の方には入居者様に関する意見をいただき参考にさせていただいています。 | | |
| 5 | (4) | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる | 定期的に行っているグループホーム連絡会などには積極的に参加させていただき、他のグループホームの方々と情報共有をして良好な関係を築いています。 | | |
| 6 | (5) | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者および全ての職員が「介指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる | 「身体拘束マニュアル」を基にカンファレンス等にて個別対応に努め、県から今年の9月に改めて身体拘束0宣言の要請があり宣言しています。 | | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | カンファレンス等で様々な虐待を理解し、現場に活かしています。介護者側の介護者側の要因には特に注意し職員間でのフォローなど協力し合っています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|-----|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している | 今後の入居者様の取り巻く環境から必要性を感じていてカンファレンス等で理解に努めています。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又はや改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている | 入居時には時間を掛けて説明しています。料金の改定があった際には家族会や個々にお時間をいただき書面等で説明させていただきました。 | | |
| 10 | (6) | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている | 入居契約時には苦情処理について説明したり、意見箱を面会用紙と共に設置し定期的に回収しています。介護相談員の方には入居者様の意見をフィードバックしていただき、現場に活かしています。 | | |
| 11 | (7) | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている | 現場にいる職員の意見はとても重要になる為、カンファレンスや普段の現場においても声を掛けて意見を求めています。管理者会議でも各ホームの現状として報告、検討しています。 | | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている | 各ホームの保険請求や稼働状況が分かるマトリクスがあり、自分達のホームの現状を図面化されることで、分かりやすくなっています。 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 社内研修、特に新人社員研修には必ず参加し、会社について話をしています。定期的に各ホームにも訪問し、管理者と経営状況など話し合う機会を設けています。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会を作り、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 社内研修では代表者が提案した勉強会を同業者の方から受けたりしながらサービス向上に取り組んでいます。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|-----------------------------|-----|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスを導入する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 事前の面接やアセスメントなどにより本人様の生活歴を把握し、その方の想いを大切にしながら以前と変わらない生活に近づけるように努めています。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスを導入する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 面会時や電話など本人様の現状報告はこまめに行いその都度、ご家族様との思いにずれが生じないよう努めています。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスを導入する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご本人様とご家族様から訴えや希望を聞き、緊急性のあるサービスなどを見極めながら対応しています。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | その方に出来ることは自分でやっていただくだけでなく、出来ることを見つけて共に生活を支え合っています。 | | |
| 19 | | ○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 普段の生活などからご本人様にご家族様に望む事を把握し、ご協力を得ながら共に支え合うよう努めています。 | | |
| 20 | (8) | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 町内会の行事参加や馴染の美容院、商店への外出支援を行ったり、ご家族様には、可能な限りご協力いただき外出等の機会を依頼しています。 | | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者様個々の状態などを把握したうえで、時には見守り、時には介入したりして日常生活を支えています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 入居前の相談や契約時には退去後の支援を説明し、必要に応じて支援しています。退去先よりご家族様から連絡をいただいた事もあります。 | | |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | (9) | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している | アセスメントや日常的な関わりなどを通して利用者個々の意向を大切にしています。カンファレンスなどでずれがないか検討しています。 | | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | その方の生活歴、入居前の状態などをご本人様、ご家族様、関係機関に確認してご家族様にはセンター方式を用いて情報を得ています。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 介護記録やバイタル想定などにて利用者様個々の状態を把握し、カンファレンス等で検討している。 | | |
| 26 | (10) | ○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している | 利用者様個々のケースカンファレンスにて、ご本人様やご家族様からの意向を大切にしながら介護計画を作成して同意を得ています。 | | |
| 27 | | ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている | より細かい情報が必要であれば、24時間シートなどを用いて実践や介護計画に活かしています。 | | |
| 28 | | ○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる | 買物やイベントの送迎や付添いなど、可能な限り希望に沿うようにしています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 29 | | ○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している | 運営推進会議やグループホーム連絡会、介護相談員などのネットワークを活かして町内行事、ボランティアや職場体験の受け入れなど積極的にいき暮らしを楽しんでいただくよう努めています。 | | |
| 30 | (11) | ○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している | 入居前の見学や相談時にも説明していますが、入居時にご本人様、ご家族様が希望する病院医療が受けられるよう支援しています。 | | |
| 31 | | ○看護職との協働 介護職は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している | 利用者様の体調等を報告し助言や指導を随時受けられ、訪問時には処置などをお願いしています。 | | |
| 32 | | ○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、又、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。 | 医療機関やご家族様と連携を取り病院での看護計画を把握させてもらい、退院に向けた相談援助をさせていただいています。 | | |
| 33 | (12) | ○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる | 入居時より終末期の対応を不安に思うご家族様は多く、説明しています。入居者様のその時の状況に応じて話し合いを重ねることでご家族様の、その時の希望を確認して意向に沿えるよう、医療と連携しながら支援させていただいています。 | | |
| 34 | | ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている | 緊急時対応マニュアルなどを参考にカンファレンス等でその方に対する対応を確認しています。 | | |
| 35 | (13) | ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている | 半年に1回の定期訓練を行い、運営推進会議では報告や地域への働きかけをしています。また、BCPを作成して早期対応できるように努めています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | (14) | ○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 入居前の情報を基にその方の理解に努めています。その方、その場面に応じた声かけや対応を行っています。 | | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | ゆっくり簡潔に話をしたり、返答に選択性を持ってもらっています。自己決定が困難な方にも簡潔に答えられるようにするなど働きかけています。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 集団生活という暮らしの中では最低限の決まりはありますが、ご家族様などの協力を得たりしながら、可能な限り希望に添うように努めています。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している | 馴染みの美容院に行けるよう支援したり、訪問理容を受けています。入浴時などの着替えは可能な限り本人に選んでいただくなど基本的なことを大切にしています。 | | |
| 40 | (15) | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 季節や行事に合わせて楽しんでいただいたり、その方に合わせた食事形態を提供しています。誕生月の外食等も取り入れています。準備なども体調などに注意しながら出来る事をしていただいています。 | | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 食事量のチェックと必要に応じて水分、排泄量のチェックを行います。体重測定も毎月対応して変化に気をつけています。食事形態によっては栄養補助食にて補ってもらっています。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 見守りから声かけなど、その方に合った方法で毎食後に支援させていただいています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|---|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 43 | (16) | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている | 排泄チェック表を使用し個々のパターンや問題を把握しています。入居者様の排泄を表すサインにも注意しながら支援させていただいています。 | | |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 個々の状態に合わせて運動、水分調整などを行い改善しない場合は主治医に相談し内服薬にて調整させていただいています。 | | |
| 45 | (17) | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々にそった支援をしている | 皮膚に疾患のある方は頻度を増やしたり個々に合わせた対応を可能な限り行っています。入浴剤を変えたり、保湿クリームを使用するなどの対応も行っています。 | | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 日中の活動量や午前、午後に休んでいたりと、その方に合わせて対応しています。寒い時期には湯たんぽや足浴など行い、光や音など安眠を妨げるものには注意しています。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 定期薬は薬剤師が配達、個別の箱に入れている。社内研修では薬剤師による講義を受けている。常時、確認できるよう薬表はファイリングしてあり変更時などは対応しています。 | | |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 日常生活を把握しアセスメント、カンファレンス等でその方の状態から出来ることを確認して日々の支援や散歩、外出行事へと繋げています。 | | |
| 49 | (18) | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。又、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している | 自販機の買い物から商店の買い物など可能な限り対応しています。ご家族様の協力も得ながら支援させていただいています。 | | |

| 自己 | 外部 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----|------|--|--|------|-------------------|
| | | | 実践状況 | 実践状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 入居前よりご家族様、ご本人様に確認させていただき所持してもらっています。必要な物を購入する際は、ご家族様に確認をとらせていただいています。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている | 入居前に個人情報の確認をした上で対応しています。電話や手紙をいただいたりしています。 | | |
| 52 | (19) | ○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている | 季節を感じていただけるよう、リビングには飾り付けをしたり廊下には行事などの写真を飾りご家族様や見学の方には好評をいただいています。 | | |
| 53 | | ○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている | 座席については入居者様一人一人の個性や状態を考慮して、リビング以外にも個人で落ち着ける場所を用意しています。 | | |
| 54 | (20) | ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている | 見学など入居前に、ご本人様が慣れ親しんだ部屋作りの重要性をご家族様には説明して、家具や日用品は今まで使用していた物を可能な限り持ってきていただいています。 | | |
| 55 | | ○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している | トイレなどの手すりを始め、居室の表札などをつけて認知していただき、全員の職員が日常生活をリハビリと捉えて機能の維持に努めています。日常的なボランティア活動も活用させていただいています。 | | |